

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなるHOPPY		
○保護者評価実施期間	令和8年3月16日		～ 令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年4月1日		～ 令和8年4月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就学前の発達段階に応じた個別支援を行い、一人ひとりの成長に合わせた支援を提供している。	アセスメントや保護者との情報共有を通して発達状況を把握し、個別支援計画に基づいた支援を行っている。	職員間で支援方法の共有を行い、より専門性の高い支援を目指す。
2	安心して過ごせる環境づくりと構造化された支援環境を整備している。	視覚支援や環境設定を行い、児童が見通しを持って活動できるよう工夫している。	児童の発達や特性に応じた環境調整を継続して行う。
3	保護者との連携体制が整っており、家庭と協力した支援が行えている。	HUGや送迎時の申し送り、定期面談を通じて情報共有を行っている。	家庭支援の充実と相談しやすい体制づくりを継続する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が十分ではない。	年齢や特性を考慮した活動を優先しているため、地域交流の機会が限られている。	地域資源を活用した活動や交流機会の創出を検討する。
2	保護者同士の交流機会が少ない。	個別相談は実施しているが、交流の場を設ける機会が少ない。	講演会や交流会等の開催を検討する。
3	第三者評価の活用が十分ではない。	保護者評価や職員評価を中心に改善を行っている。	第三者評価制度の活用について検討する。